

③新たな作目や品種の特長を活かした需要拡大

## イタリア原産トマトによるトマト加工品及び南アフリカ原産唐辛子加工品の開発・製造・販売

加工適性の高いイタリア原産トマトのソース等と欧米で注目されているピカンテペッパーのピクルスの販路開拓を行う。

### ➤ 連携体

農林漁業者

野村妙子(農業)

3haの施設でローテーションによるトマトの周年供給と、南アフリカ原産ピカンテペッパーの安定的な供給を担う。

中小企業者

(有)スタジオオカムラ (食料品製造業)

材料の仕入から加工・販売までの一元管理と、直営店舗を活用したレシピの企画・提案により、加工品の開発・製造・販売を担う。

### サポート機関等

中小企業基盤整備機構四国支部・(財)高知県産業振興センター

### ➤ 連携の経緯

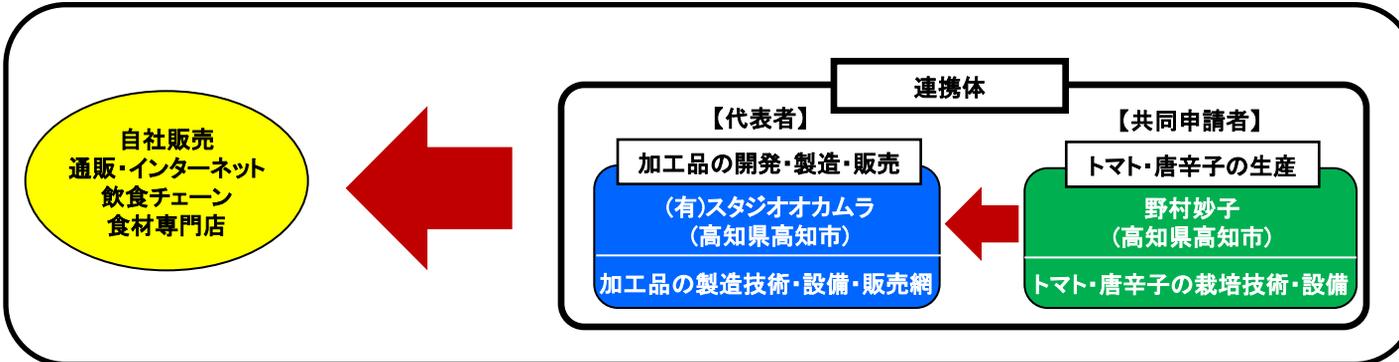
平成21年春、元帝国ホテル大阪料理長の紹介で出会った両者は商品開発に当たっての原材料の重要性について共通認識を持っていることを確認。その後、(有)スタジオオカムラの提案で、野村巧はイタリア原産トマトと南アフリカ原産ピカンテペッパーの試験栽培を開始し、(有)スタジオオカムラの経営するマルシェにて販売したところ好評を得た。両者はお互いの経営内容を確認する中で、(有)スタジオオカムラの国産原料の安定的な調達と野村巧の野菜の販路開拓というお互いの課題を解決できることを認識し連携。野村巧の配偶者妙子は、野村巧の死後、農業経営を引き継ぐこととなった。



左上から「イタリア原産トマト」、「トマトソースとパスタ」、「ピカンテペッパーのピクルス調理例」、「ピカンテペッパー」

### ➤ 連携に当たっての課題や工夫等

野村妙子はローテーションによりトマトの周年供給を行う。また、トマトの生産量の落ちる夏場にピカンテペッパーを栽培し、収益性の向上を図る。(有)スタジオオカムラは、加工適性や原産地に拘った品種選定等材料の仕入から加工・販売まで一元管理する。国産原料の使用により従来製品との差別化を図った商品を、自社レストラン・インターネット等の自社販路と飲食チェーン・食材専門店で販路開拓する。



### ➤ 連携による効果

農林漁業者

5年で1,150万円の売上高増加、経営の安定化、規模拡大による周辺遊休農地解消

B級品も含んだ農産物の安定供給による農業経営の改善と経営規模拡大による周辺遊休農地の解消が期待される。

中小企業者

5年で7,200万円の売上高増加、収益性の改善

農産物の仕入から加工・販売まで一元管理による高品質な加工品の販売で売上の増加と収益性の改善が期待される。

### ➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：有限会社スタジオオカムラ  
TEL：088-850-3113  
E-mail：terrace@circus.ocn.ne.jp

所在地：高知県高知市春野町弘岡下2869-1  
FAX：088-850-3114  
ホームページ：http://www.harunoterrace.co.jp/